

スポーツ医療における 圧力波の有効性と最新事例

2018年10月28日(日) 東京

欧州で普及している圧力波の機序と集中型ショックウェーブの違いを
最新の事例報告・研究論文を元に紹介する。

rSWT（圧力波）は世界中で数多く研究され、臨床応用されている。治療時に麻酔を必要とせず、正確なターゲティングが可能であるため超音波放出回数も少なく、付随して行う検査も非常に少ない為、費用対効果が高い。一方、治療する症状によっては、rSWTの方がfESWTと比較して多くの治療が必要になることもある。科学的アプローチにより、進化し続けている圧力波療法について紹介する。

セミナー内容（予定）

- ・圧力波の機序と集中型とのエネルギーの違い
- ・代表的疾患での臨床報告
- ・スポーツ現場での有用性・集中型に対する優位性
- ・拡散型での最新トレンドの紹介
- ・デモンストレーション



Lecturer : Bert Vrijders
from Belgium



Lecturer Bert Vrijders

from Belgium

30年以上の理学療法士及びクリニックオーナーとしてのキャリアを持ち、労働災害予防コンサルタント・プロスポーツチームの顧問も兼務する経歴からショックウェーブ治療の効果に着目し、腱障害における基礎理論に基づいたセミナー・ワークショップを全世界で講演している。

【講師 略歴】

1983：Leuven キリスト教大学 運動学、運動療法修士課程卒業
1983 - 現：クリニックオーナー
1985 - 1995：労働災害予防コンサルタントSTeP 及び ABCにおいて顧問PTとして勤務。
1995 - 現：プロチーム Avanti Lebbeke, KFC Malderen, Microop French national female volley team,にて医療コーチとして勤務。
現：プロサイクリスト Tim Mertens, Kevin Seeldraeyers のアドバイザーとして活躍。
2008 - 現：GymnaUniphy 社においてショックマスターのセミナー・ワークショップ講演を務める。

【講師 資格】

理学療法士
NFDLK（手技療法修士）
VIGEZ（健康増進疾病予防）運動指導員

東京会場

2018年10月28日（日）

13:00～17:00（受付12:30～）

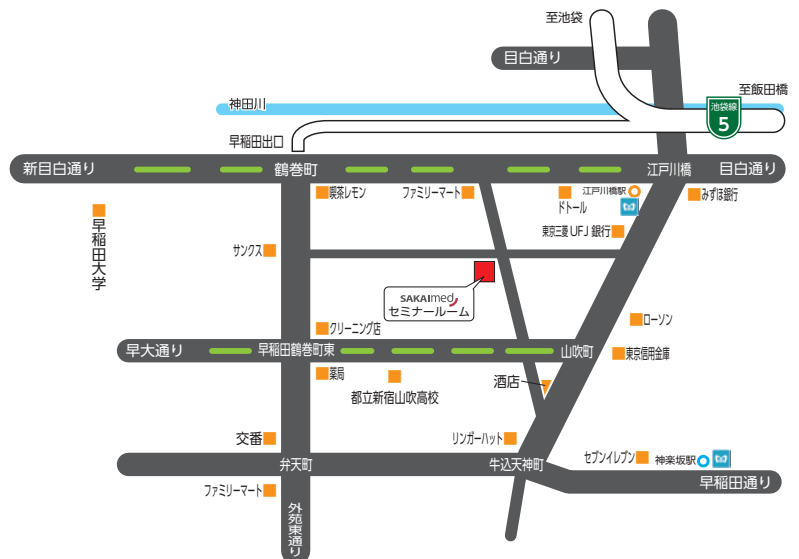
受講料：3,000円

場所：酒井医療株式会社 本社セミナールーム

新宿区山吹町358-6

※地下鉄「江戸川橋」徒歩4分

定員：40名



お申込み

下記アドレスまたは、QRコードよりお申込みください。
お電話でのお申込みはできませんので、予めご了承ください。

<http://bit.ly/s1028SHM>

